

No.271

2023年
4月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

《 展示のご案内 》

展示期間 4月27日(木)まで

★メイン展示

『ボタニカル!』

ついに始まった連続テレビ小説「らんまん」。放送をいまかいまかと心待ちにしていた方も多いのではないのでしょうか。いわずと知れた佐川町出身の牧野富太郎博士をモデルにした朝ドラです。主人公を俳優神木隆之介さんがどのような人物に仕上げてくるのか楽しみですね。毎朝爽やかな風を送り込んでくれることと期待しています。

そこで今回の展示は、

- ・朝ドラ記念 牧野富太郎
- ・心なごむGreenと暮らす
- ・山に行こう!

という3つのコーナーを用意しました。



●メイン展示図書(抜粋)

- 「牧野富太郎」「野山の花をさがす12か月」
- 「あたらしいアロマテラピー事典」
- 「薬草・毒草を見分ける図鑑」「植物色の毎日」
- 「キャンプで子育て」「高知日帰り山歩(さんぽ)」

★サブ展示

『子どもの教育書・育児書』

新入学や進級など、春は子供たちにとって大きな環境の変化を生み出します。子育てする側にとってもどのような教え方をすればいいのか迷いますよね。そこで、子育てに関する様々な本を集めてみました。



●サブ展示図書(抜粋)

- 「おうち療育をはじめよう!」「子育て神フレーズ」
- 「子どもの長所を伸ばす5つの習慣」
- 「子どもの気持ちがわからないときに読む本」
- 「子育てで眠れないあなたに」

知っていますか? 坂本図書館!!

図書館は古い本ばかりが並んでいると思いませんか。そうではありません。なんと雑誌もあります。毎週、毎月入荷されています。最新号を除いて、3冊まで貸出可能となっています。普段出会わないような雑誌と出会えるかもしれません。あなたのお気に入りの1冊をみつけに来てください。



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

日本人の愛したお菓子たち

吉田菊次郎 著
講談社

今や日本人になじみの深い「あんぱん」や「柿の種」。いつ頃、誰の手によって考案されたのか知っていますか？流行した洋菓子から駄菓子・アイス類、現代のスイーツまでを、お菓子の誕生やその時代背景とともに紹介します。

明治から令和まで、日本人が愛したスイーツ史のダイジェスト版！きっとあなたが好きだったあの懐かしいお菓子に出会えるはずです。

(児童)

キュリオと月の女王

斉藤 洋 作
ももろ 絵
講談社

森に住む白くまベベのところに遊びに来る男の子キュリオ。好奇心いっぱいのキュリオは、いつもおかしいことを言い出してベベを困らせます。

「月の女王さまに、会いにいかないか？」

今回もキュリオの突拍子もない誘いに仕方なく付き合うことになったベベは…。

白くまベベとキュリオのやりとりがおもしろい、ちょっとふしぎな物語。なんだかんだ言っても、キュリオのくれるクッキーにほだされて最後まで付き合ってしまうべべにクスッと笑ってしまいます。

(一般)

ふれあいサンドイッチ

谷 瑞恵 著
KADOKAWA

密かに想いを寄せているパン職人・川端さんと同じパスケースを発見した露子。持ち主は誰？パスケースを拾った事で2人の関係は…。

姉妹が営む手作りサンドイッチ店『ピクニック・バスケット』を舞台にした三作目。今回も悩める人々が、おいしいサンドイッチにお腹も心も癒されていく。ほっこりするお話にあなたも癒されてください。

(児童)

恐竜の町で見つけたこと

松原 秀行 作
梶山 直美 絵
講談社

恐竜の化石で有名な町に引っ越してきたミホは、イチローと出会い崖の地層について教えてもらうことに…。

この物語を通して地層や恐竜の歴史、絶滅の謎や体のつくりなど神秘の世界を知ることができる1冊となっています。

おはなしサイエンスシリーズは他にもありますので、ぜひ読んでみてください。

※本の紹介文は、スタッフが作成しています。

春の思い出

松澤まり子

ご存知のようにここのところお天気が変わりやすく雨が降ったと思えば曇り空になりまた雨。たまに日が差すとやはり青い空はいいなと実感する。山桜は雨でそろそろ散りそうだ。でも今年の桜はとても美しく感じる。ニュースで色々な場所の桜を見る。わたしは山桜が一番好きかもしれない。数十年前に見た人通りの殆どないような山道のそばで咲いている山桜も今頃ひっそりと透き通るように美しい花をつけているのだろうと思うと、こころがほっと温かくなる。

このところのお天気はイギリスの春を思い出させてそれに伴い色々なことを思い出す。

春のお天気は日本のそれと同じように変わりやすく（まあ、特にイギリスの天気は季節を問わずころころ変わりやすいのであるけれど）一日の中で、晴れ、雨、曇り、また雨などといった天気になることをわたしは驚いたものだ。超有名なブランドのトレンチコートはイギリス製だということもよくわかる。わたしのいた場所は海沿いだったので風が強かった。

ホームステイ先のおばさんは看護師で夜勤もあり、降る雨の中を白衣にコートを着てさっさと歩き仕事に行っていた。イギリスの春といえばそんなおばさんの姿を思い出す。お天気が悪いので外に干せない白衣をよくセントラルヒーティングのパネルヒーターの上に広げて乾かしていた。

（イギリスでは看護師さんは白衣を着たまま仕事へ行くということもそこで知った。まあ、わたしが留学していた数十年前の話で現在は昨今の事情もあり変わっているかもしれない。）おばさんは産婦人科で働いていて同僚のお友達がよくおばさん家に立ち寄っておしゃべりをしていた。おばさんはアイルランド人だったせいかお友達も東南アジアから来た移民の方やアフリカ系の方など国際色豊かだった。皆さんフレンドリーでわたしも一緒におしゃべりを楽しんだ……と言っても英語があまり話せない時だったが、それでも語学学校に通うよりもおばさん家で日常の英会話を取得できたような気がする。キッチンで、お友達たちは自分の家のように勝手にお湯などを沸かし紅茶を作るのだ。それもイギリスでは普通のことなのだ。知ったっけ。みんなそれぞれに紅茶の入れ方は違うのだ。ミルクの加減や濃さとか。

おばさんは料理好きでなんと日本の炊飯器まで持っていた。今はあまり見ないタイプの、昔どの家庭でもあった上のほうが白くて下が青い電気釜炊飯器だった。日本と同じご飯を炊くわけではなかったがタイ米でピラフのようなものを作ったりしていた。デザートはたいていお手製のゼリーやヴィクトリアケーキ（ようやく最近、そのケーキ

の名前を知った）だった。どれも素朴で美味しかった。

おばさんの夫は車関係の仕事をしていて一人娘さんがロンドンに住んでおりBBCの関連会社で働いていた。何だかとても懐かしく感じたのは炊飯器やおじさんの仕事道具のスパナなどが台所に置いてあったりしたことが原因だと思う。わたしも両親が車関係の仕事をしてたし一人娘だし。

ある日、学校から帰ると、おじさんの仕事で使っているワゴン車が動かなくなると連絡が入り、おばさんが迎えに行かなくてはならなくなった。「マリコ、一緒に来てくれない？」とおばさんが不安そうに言うので本当は明日の試験勉強をしたかったけれどついて行った。初めての道でおばさんは不安で話相手が欲しかったのだろう。車道の両側は羊や牛のいる丘で緑豊かなイギリスの風景が広がる田舎道で「マリコ、キツネが横切ったよ！」と言うおばさんの声を今でも忘れられない。陽の傾く夕暮れの車道をきつねがさっと走って行った。おじさんの車にようやくたどり着いて従業員のドイツ人の男性とおじさんを乗せて家に帰った。おばさんの車にはよく乗った。小型犬を二匹飼っており車に載せて岬に散歩に行くのは日課だった。運転中、車の中の犬たちはワンワン吠えてものすごくうるさかった。それも日課になりいつしか慣れた。（笑）

ホームシックにならないように宿毛と同じような場所を選んだ。ネットや携帯電話も普及していない時代の話で学校選びは東京のブリティッシュカウンシルで情報を集めた。その市はロンドンから電車で2時間ほど、イーストサセックス州のドーバー海峡沿いの港町、ヘイスティングスという。イギリスの思い出話はとめどなくあふれてくるのでまた後日書きたいと思う。



さくら

～新着図書のご紹介～

一般図書



- | | | |
|---|---------------------------------------|-------------|
| 0 | 「はじめての絵本」 | 磯崎園子 |
| 1 | 「始皇帝の愛読書」 | 鶴間和幸 |
| 1 | 「心理学概説」 | 巖島行雄 |
| 2 | 「もっと知りたい牧野富太郎」 | 池田博 |
| 3 | 「教えて南部先生！18歳までに知っておきたい
選挙・国民投票Q&A」 | 南部義典 |
| 3 | 「マンガですぐ読める1分で話せ」 | 伊藤羊一 |
| 3 | 「世界一わかりやすい！インボイス」 | 永井圭介 |
| 3 | 「多様性を尊重する子供を育てる校長講話」 | 山中ともえ |
| 3 | 「子どものやってみたい！を育てるみやもっち
体育」 | 宮本忠男 |
| 4 | 「宇宙の化学」 | 羽馬哲也 |
| 4 | 「マンガぼけ日和」 | 矢部太郎 |
| 4 | 「繊細な人の話し方」 | Ryota |
| 5 | 「YouTube活用大全」 | 守屋恵一 |
| 5 | 「今、作りたいスマホショルダー」 | |
| 5 | 「この1冊で安心！きれいな食べ方&ふるまい」 | 樋口智香子 |
| 6 | 「人生はウーパールーパー」 | ももにくす |
| 7 | 「nanahoshiの大人かわいいおりがみ」 | たかはしなな |
| 9 | 「江戸川乱歩」 | 戸川安宣 |
| 9 | 「うけいれるには」 | クララ・デュポン＝モノ |

※左側の数字は図書の分類を表しています。
0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- | | |
|------------------------------------|---------|
| 「アインシュタインのことばと人生」 | 新堂進 |
| 「いちねんせいえほん」 | 高濱正伸 |
| 「授業がもっと楽しくなる！めざせ！タブレット
PCの達人図書」 | 北澤武 |
| 「恐竜の町で見つけたこと」 | 松原秀行 |
| 「ひょうたん池の怪魚？」 | 赤羽じゅんこ |
| 「パパが宇宙へ行くなんで！」 | 松素めぐり |
| 「イチからつくるコーラ」 | コーラ小林 |
| 「おとな体験授業？」 | なかがわちひろ |
| 「紫式部と源氏物語」 | 川村裕子 |
| 「そんなのうそだ！」 | ジーン・メルル |

絵本



- | | |
|-----------------|-----------|
| 「パンダなかよしたいそう」 | いりやまさとし |
| 「だいくのだいきちおおねぼう」 | 太田大輔 |
| 「トラックくん」 | えのもとえつこ |
| 「フルーツヴィルのいちねん」 | フェリシタ・サラ |
| 「聞いて聞いて！」 | 高津修 |
| 「ねむいねむい」 | 西村敏雄 |
| 「ぼくのスカート」 | ピーター・ブラウン |
| 「のせてくださいな」 | みやけゆま |
| 「ゆうちゃんのノート」 | 藤田陽一 |
| 「さくらちゃんのかえりみち」 | かさいまり |

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、
そちらもぜひご覧ください。

4月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日・祝 10:00～18:00
 ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp

■は休館日



【図書館HP】

